

中洲庸子（なかす ようこ）



【略歴】

東京都出身

1978年 京都大学医学部卒業

1979-99年 滋賀医科大学脳神経外科

1986-87年 英国オックスフォード大学グリーンカレッジ 臨床フェロー

2002-18年 県立静岡がんセンター脳神経外科 部長

2018年- 滋賀医科大学脳神経外科 非常勤講師

県立静岡がんセンター脳神経外科 非常勤医師

【主な会員および公的資格】

日本脳神経外科学会、専門医

Society for Neuro-Oncology、Editorial Board

European Association of Neuro-Oncology、会員

## 第 21 回日本ガンマナイフ学会学術総会 教育講演 1

### 転移性脳腫瘍の基礎と臨床

Basic and clinical perspectives on brain metastases

中洲 庸子

滋賀医科大学脳神経外科 非常勤講師

#### 概略

転移性脳腫瘍はがん患者に頻繁に発生し、個別の複雑な背景を持つ病態である。がんに対する生物学的知見と治療法は飛躍的に進化しており、同時に転移性脳腫瘍の臨床も一層の進化を遂げつつある。

転移性脳腫瘍への治療介入は、放射線治療、外科的治療、分子標的治療、免疫治療を駆使して複合的に行われる。したがって多科・多職種医療、臨床試験の進捗を視野に仕事を進めることが鍵となる。

本講演では、転移性脳腫瘍の病態の特徴を踏まえながら、現時点での臨床の要点をまとめ、将来の展望を提示したい。